



ハエ、ごみ問題解決へと、真剣に話し合った美化シンポジウム(三和小体育館)

取り戻そう・・・

- ◎ごみを一掃し
美しい海岸と清流を
- ◎ハエを絶滅し明るく
健康な生活を



- ハウスにネットを張り、外と遮断したらどうか。
- 常時ハエが集まってくるころでは、ハエ取りびんもかなり効果がある。
- 油かすは、砂地に最も適した肥料だ。今まで、薬剤などを混入しそれなりの効果が上がったこともあったが、撲滅には至っていない。
- 油かすが、すくく責任を取らさ

地域みんなの協力でハエ撲滅へ

討議の中から 意見を拾ってみると

- ハウスにネットを張り、外と遮断したらどうか。
- 常時ハエが集まってくるころでは、ハエ取りびんもかなり効果がある。
- 油かすは、砂地に最も適した肥料だ。今まで、薬剤などを混入しそれなりの効果が上がったこともあったが、撲滅には至っていない。
- 油かすが、すくく責任を取らさ

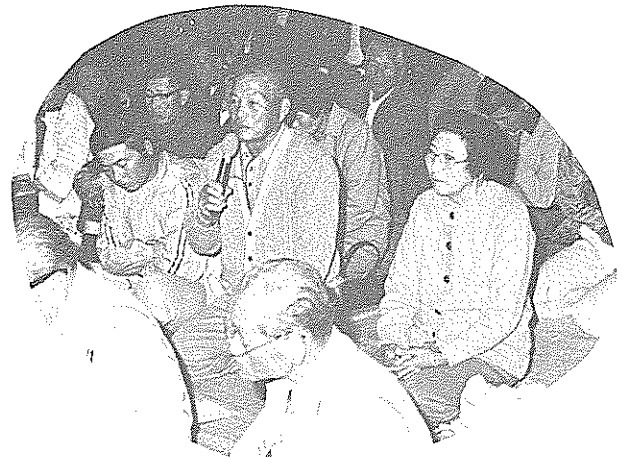
流さない、捨てない 運動を広く市民に

○ある地区の老人クラブでは、波でたくさんのごみが上がったそのつど清掃しているが、高齢者対策

この二つの環境問題解決には、行政としての役割、住民としての役割をはっきりした上で、両者がスクラム組んで協力し合っで初めて、その道が開けてくるといえます。それぞれの立場で今、解決への取り組みが大きく高まっています。

よりよい環境

(海岸地域美化シンポジウム)



ハエの大量発生と防潮堤への大量のごみ投棄が、大きな問題となっている南部海岸地帯。官民一体となってこの問題を解決しようとする。一月十六日、三和小学校体育館に住民、関係者ら百五十人が集まり「環境シンポジウム」が開かれました。これは、市海岸地域美化推進協議会(徳永安雄会長)、市衛生委員連合会(北村武会長)、市の三者が主催したものです。

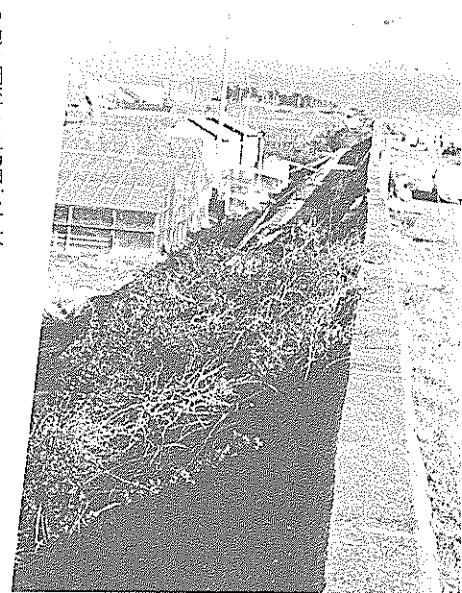
官民一体で 問題解決へ

ハエの大量発生問題は、十数年前から指摘され、その原因はハウス園芸に欠かせない肥料「油かす」が問題と言われています。そのため各農協園芸部も協力、肥料に薬剤を混ぜるなど、その駆除に努力してきました。また、一般家庭でのハエ駆除も行っていますが、抜本的な解決策は見つかっていません。

の二因にもなっています。この防潮堤が、現在建設省が進めている南国自動車道のコースになる可能性が出てきました。この機会に、このハエ、ごみ問題を一挙に解決していこうと、地元で徳永安雄議員らが中心となり「海岸地域美化推進協議会」が発足。建設省への陳情などの運動を進め、今回のシンポジウムとなったのです。

まず、浜田助役が「みんなが知恵を出し合い、協力し合っで、よりよい環境づくりを進めたい」とあいさつ。続いて、十年前にもこの地を調査した高知女子大学の松崎沙和子教授が「ハエの防除について」と題して講演をしました。その中で「ハウス内は砂地で、温度、そしてえさとなる油かすなど、ハエの発生しやすい状態をつくっているが、他にも要因はある。そのため、周囲の環境も含め、ハエの発生しにくい環境づくりをみんなですていくことが必要だ」と説明。

そして、徳永会長が現状報告をし、続いて建設省、県、普及所、農協などの代表者がそれぞれの立場で意見発表し、それに基づいて参加者みんなで、解決の方策を話し合いました。



たい積ごみから雑草が生えてきているところもある

まるでごみ捨て場のようになっている野菜くす